

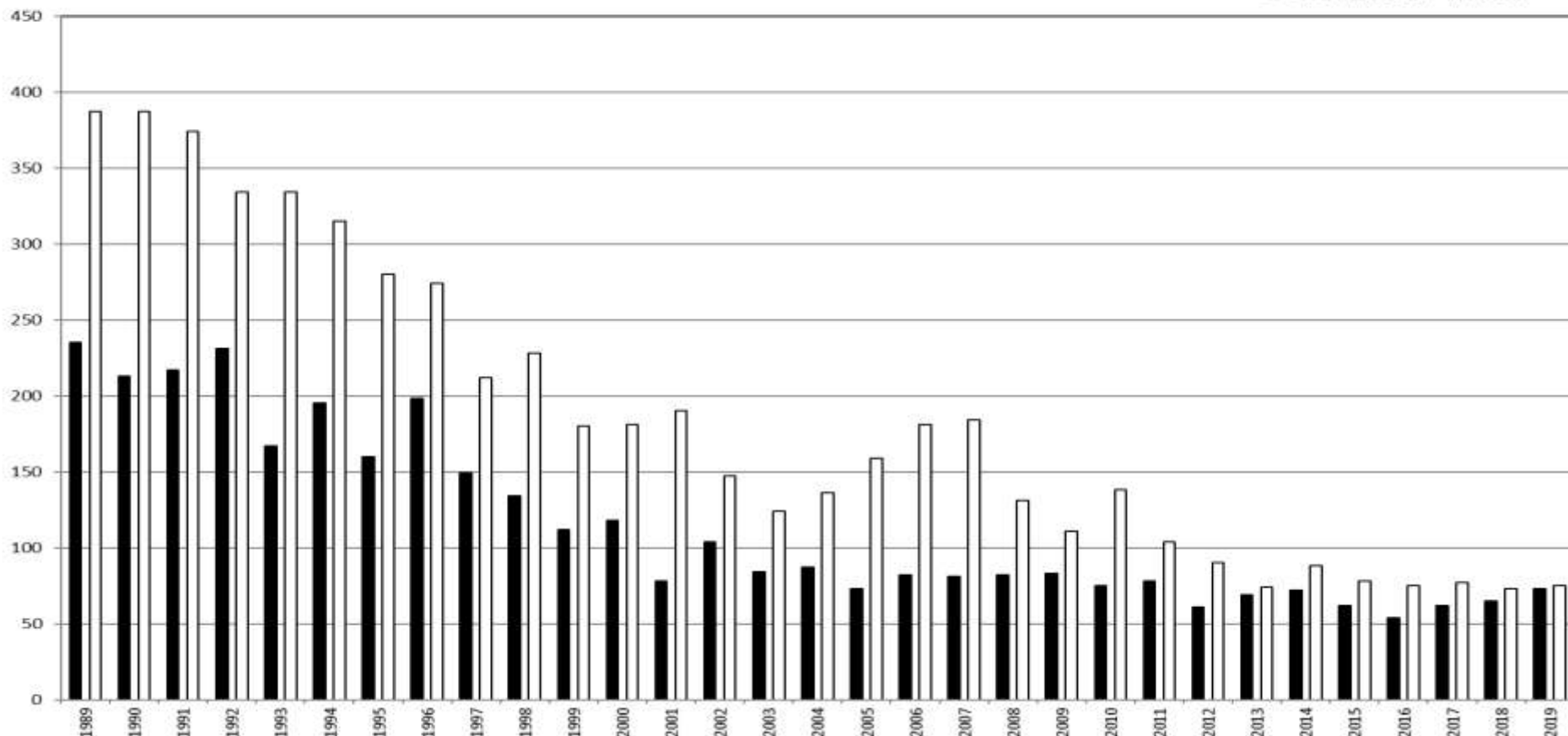
製造業安全対策官民協議会・第3回アドバイザーボード

# 日本製紙連合会の安全衛生活動について

2021年1月20日

日本製紙連合会 参与・労務部長 小宮山 泰

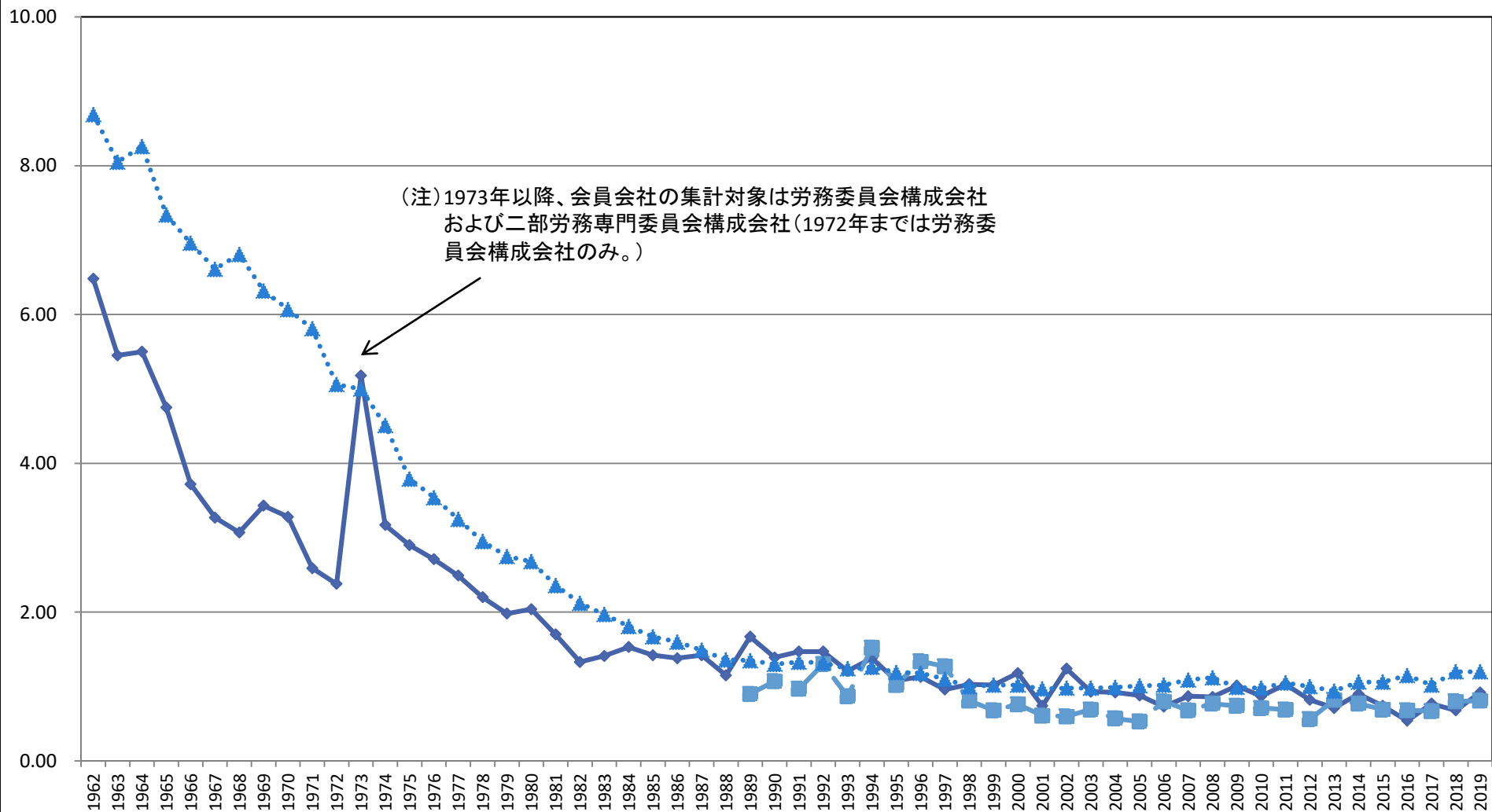
会員会社+協力会 災害件数推移（1989年～2019年）



- ・ 1989年：休業235 + 不休387 = 622件 ⇒ 2019年：休業73 + 不休75 = 148件  
過去最高成績は2016年の合計129件・**2020年11月末現在 合計131件**
- ・ 会員会社29社・82事業場（従業員約1.9万人、構内協力会社約2.4万人）

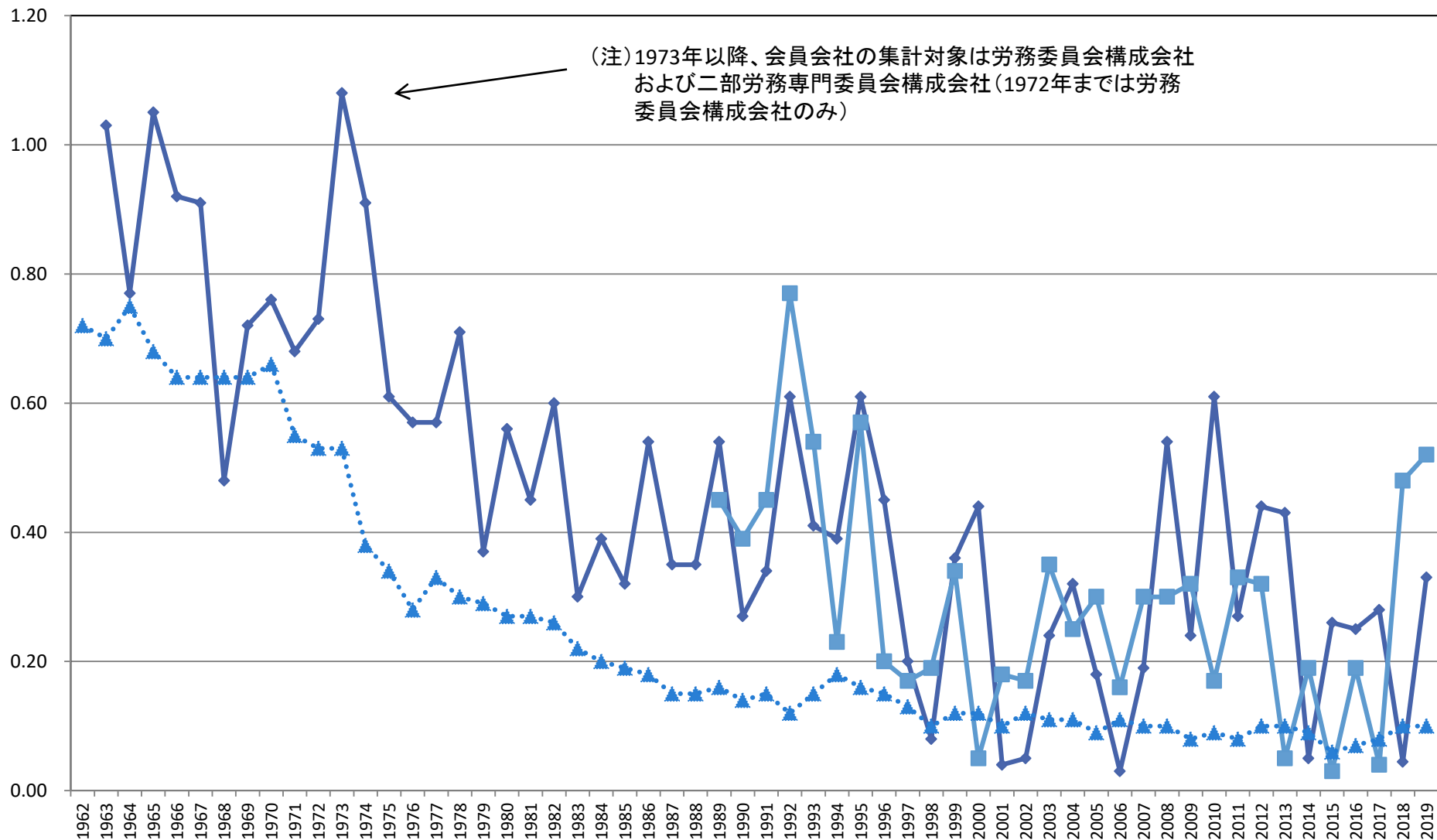
休業度数率比較（対製造業平均）

- ◆— 会員度数率（休業）
- 協力会度数率（休業）
- ▲— 製造業度数率（休業）



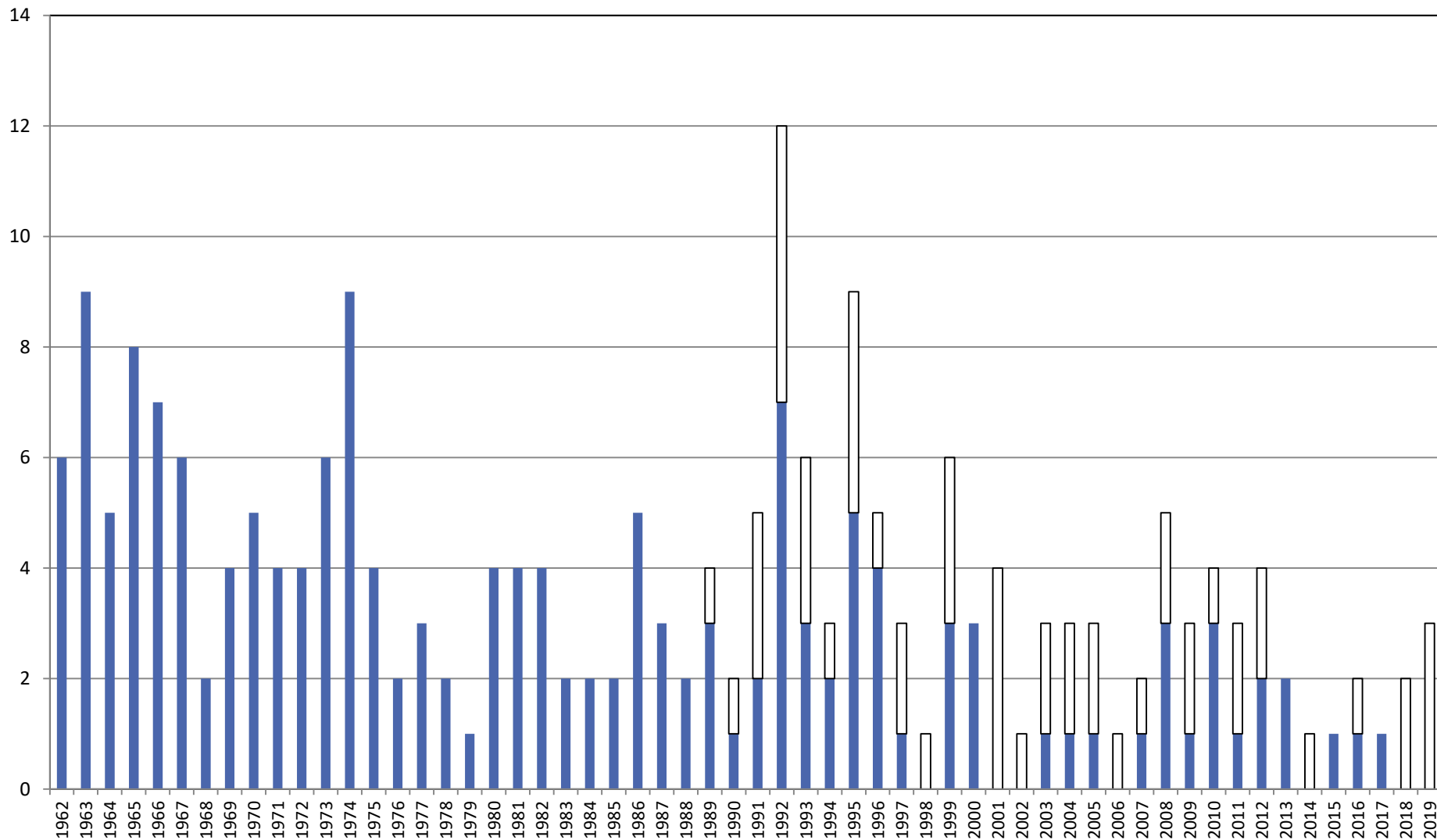
強度率比較（対製造業平均）

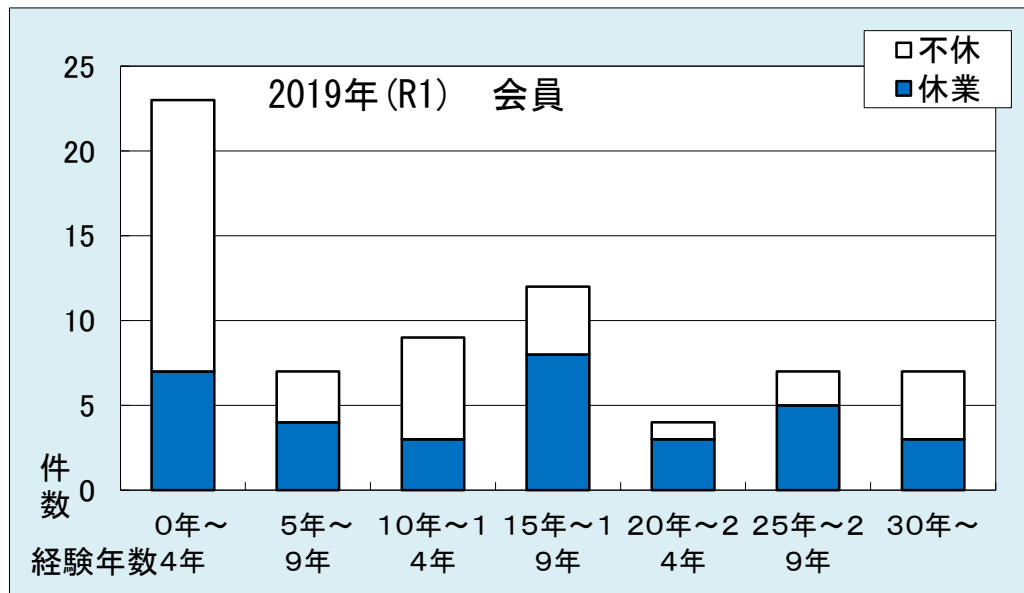
- ◆ 会員強度率
- 協力会強度率
- ▲ 製造業強度率



会員会社・協力会死亡災害件数推移

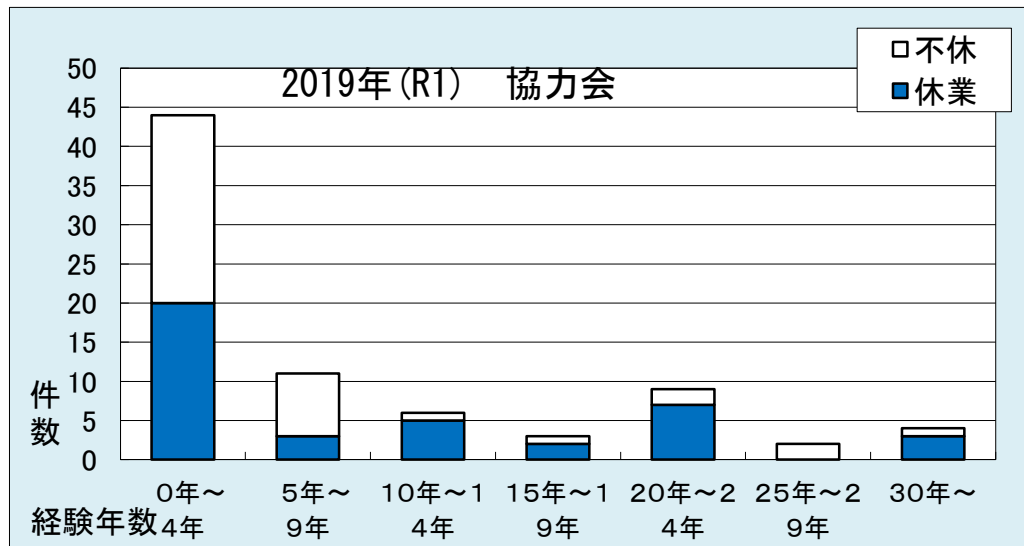
□ 協力会死亡件数  
■ 会員死亡件数

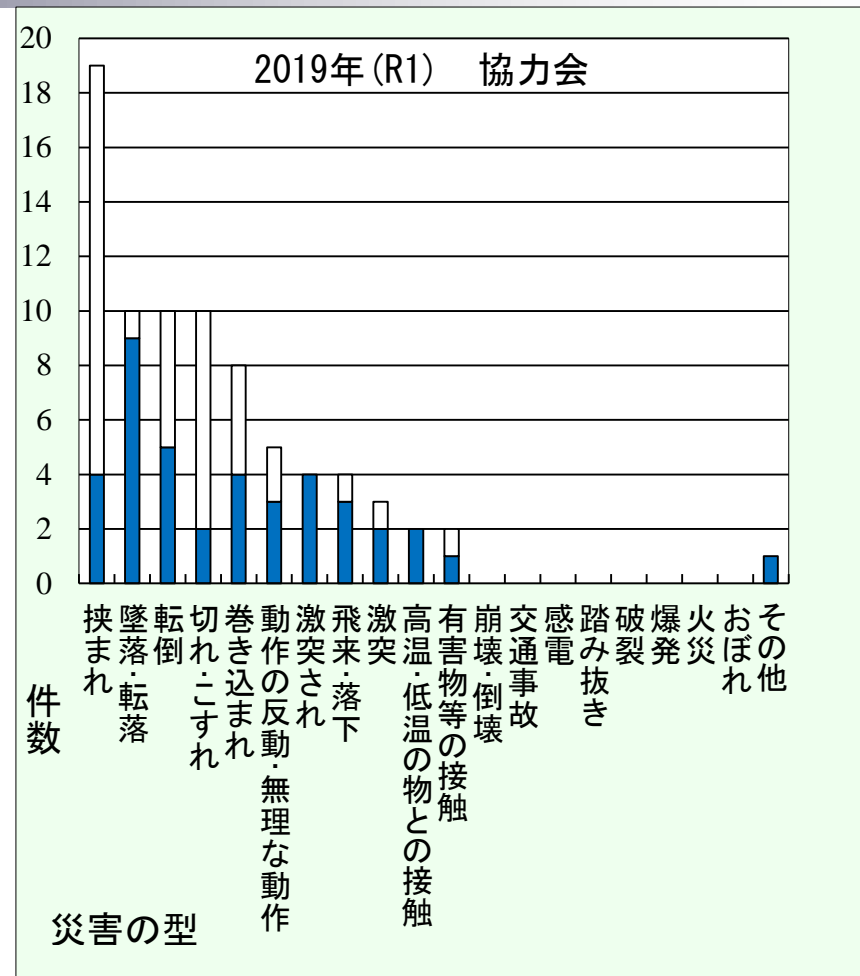
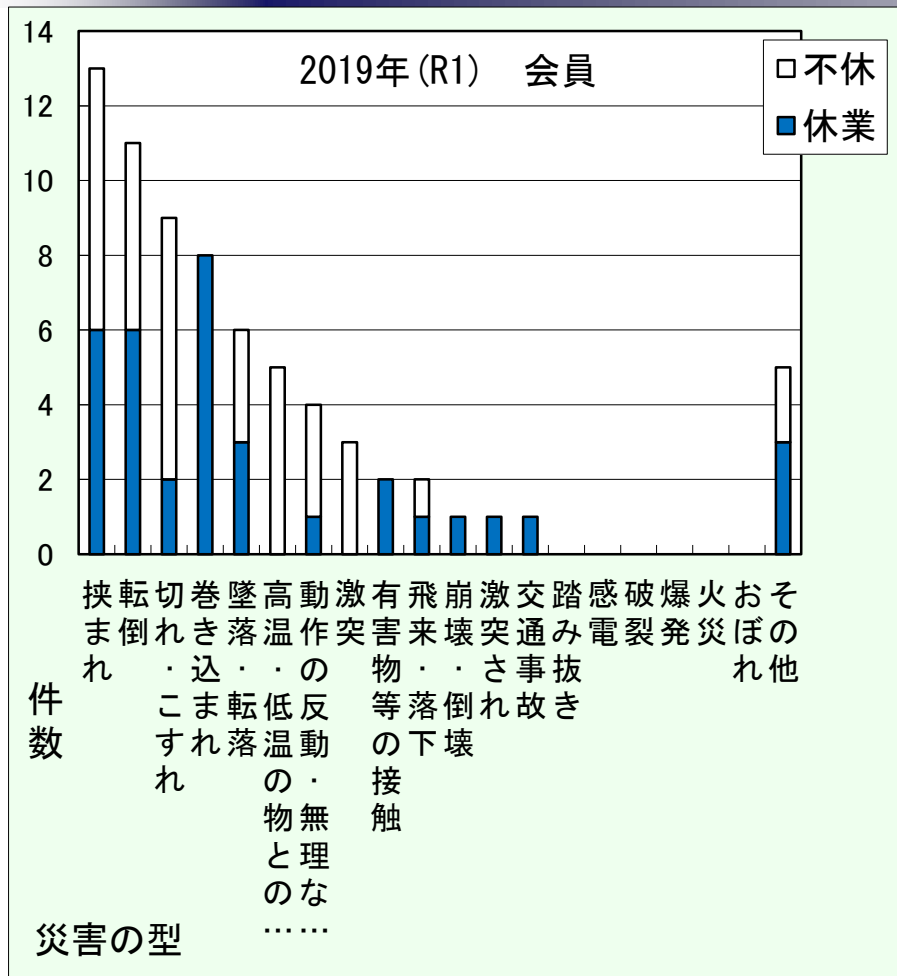




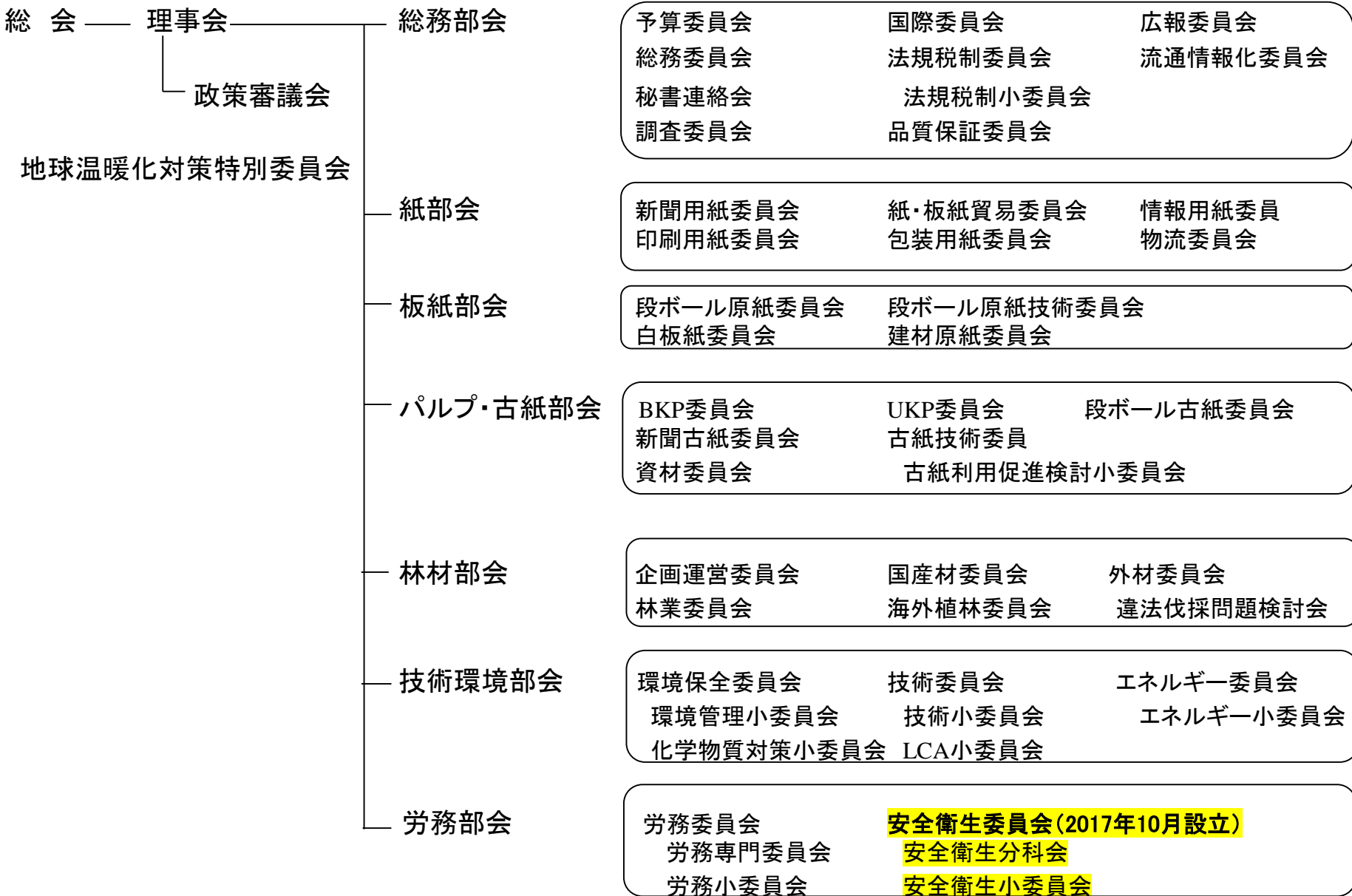
・経験年数別発生件数は、会員・協力会ともに過去10年間「5年未満」が最も多い。

・2019年もこの傾向に変わりはなく、2020年も引き続き「短経験者」の被災が目立っている。





- ・災害の型別発生件数は、会員・協力会ともに過去10年間「挟まれ」が最も多い。
- ・2019年もこの傾向に変わりはなく、「挟まれ・巻き込まれ」で全体の32.4%を占めている。





## 『会員会社およびグループ会社事業場における 死亡災害ゼロ』

「自社の事業場に受け入れる以上、どのような人であっても、無事に入構の目的を遂げ、退場してもらうことが、事業場長さらには経営トップの責任である」との考え方のもと、自社従業員・協力会従業員はもちろんのこと、臨時入構業者等、事業場に常駐しない者も含めた安全管理の徹底をはかり、会員会社の事業場から死亡災害を撲滅することを製紙連合会の究極的な目標とする。

2018年2月20日制定「労働災害防止に向けた行動計画」より

2021年1月15日

計画：●◀-----▶ 実績：◎◀-----▶ 書面開催:(書) WEB開催:(W) 延期:△⇒ 中止:× 新規取組:□

日本製紙連合会 安全衛生委員会

取り組み項目	内容	2020/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	※該当する経営理念					
														一	二	三	四		
◎製造業安全対策官民協議会	協議会への参画 (会長団体)	◀-----▶ 協議会・WG・SWG・特別セッション(全国産業安全衛生大会)ほか												○	○	○	○		
1.恒常的取り組み	(1)死亡災害撲滅活動																		
	①経営トップへの働きかけ	理事会報告	●◎		●◎						●◎				○	○			
	②紙パ連合との連携	安全大会・合同会合		●×			●×				●×							○	○
		災害情報の共有	◀-----▶																
	③会員会社・会員への働きかけ	安全大会・研修		●△				●△			●◎	●(W)						○	○
	④業界他団体との連携	災害統計等の提供	◀-----▶															○	
	(2)安全衛生委員会の運営		●◎					●(書)							○			○	
	(3)災害事例の水平展開		◀-----▶															○	
	(4)安全統計の作成	月次報告	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎	●◎				○
		年度報告			●◎						●◎								○
	(5)安全衛生分科会の運営		●◎	●×				●(書)				●(W)	●△					○	
	(6)全国紙パルプ安全衛生大会の開催	大会・表彰・分科会									●×(書)(W)								
		安全衛生小委員会		●	⇨(書)			●(書)		●×		●×		●(W)	○	○	○	○	
		理事会報告							●×		●◎								
(7)業界内外への情報発信	HP更新・拡充		●◎	●◎			●◎				●◎		●◎					○	
(8)業界内外の知見活用・業界横断的取組	官民協議会(上記)	◀-----▶																	
	業界他団体(上記)	◀-----▶												○	○	○	○		
2.中期的取り組み	(1)入構運用の徹底	会員各社にて検討	◀-----▶															○	○
	(2)製造業元方針指針の遵守	フォローアップ調査	●◎					●(書)				●⇨◎						○	○
3.将来的取り組み	(1)業界共通の設備安全基準の検討・制定	講演会・研修会		●×				●	⇨		◎	●(W)		□			○	○	○
	(2)業界共通の安全衛生教育体系の検討・制定	官民協議会への参画	◀-----▶												○		○	○	
	(3)合同安全パトロールの実施	企画立案・初回開催					●(書)						●×		○		○	○	

※ 神戸宣言「4つの経営理念」(2017年11月9日 於:第76回全国産業安全衛生大会・特別セッション)

一、経営層がリーダーシップを発揮しつつ、安全担当や製造担当と接触し、かつ、常に現場の声を反映できるような体制の強化
二、設備の老朽化等の厳しい現状がある一方、技術革新を生かした新たな取組も進んでいることを踏まえた、安全への投資の促進
三、ベテラン職員の減少、業務アウトソーシングの増加などの環境変化を踏まえた、階層別、協力会社を含めた安全人材の育成や安全教育の拡充
四、重点的に取り組むべき課題を抽出し、その原因・対策などを検討し、検討結果を業界内外に共有

計画：●◀-----▶ 新規取組：■

日本製紙連合会 安全衛生委員会

取り組み項目	内容	2021/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	※該当する経営理念						
														一	二	三	四			
◎製造業安全対策官民協議会	協議会への参画	◀-----▶ 協議会・WG・SWG・特別セッション（全国産業安全衛生大会）ほか												○	○	○	○			
1.恒常的取り組み	(1)死亡災害撲滅活動																			
	①経営トップへの働きかけ	理事会報告	●		●												○	○		
	②紙パ連合との連携	安全大会・合同会合	●				●													
		災害情報の共有	◀-----▶														○	○		
	③会員会社・会員への働きかけ	安全大会・研修		●				●			●	●						○	○	
	④業界他団体との連携	災害統計等の提供	◀-----▶															○		
	(2)安全衛生委員会の運営		●					●									○	○		
	(3)災害事例の水平展開		◀-----▶														○			
	(4)安全統計の作成	月次報告	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				○	
		年度報告			●							●								
	(5)安全衛生分科会の運営		●	●		■		●				●	●					○		
	(6)全国紙パルプ安全衛生大会の開催	大会・表彰・分科会										●								
		安全衛生小委員会		●					●	●		●		●			○	○	○	○
		理事会報告							●			●								
(7)業界内外への情報発信	HP更新・拡充	■	●	●			●					●	●					○		
(8)業界内外の知見活用・業界横断的取組	官民協議会(チェックリスト)			●			●									○	○	○	○	
	業界他団体(上記)	◀-----▶																		
2.中期的取り組み	(1)入構運用の徹底	フォローアップ調査	●					●				●						○	○	
	(2)製造業元方指針の遵守	会員各社にて検討	◀-----▶														○	○		
3.将来的取り組み	(1)業界共通の設備安全基準の検討・制定	講演会・研修会		●				●			●	●					○	○	○	
	(2)業界共通の安全衛生教育体系の検討・制定	官民協議会への参画	◀-----▶																	
	(3)合同安全パトロールの実施	企画立案・初回開催				●								●		○	○	○	○	

※ 神戸宣言「4つの経営理念」（2017年11月9日 於：第76回全国産業安全衛生大会・特別セッション）

一、経営層がリーダーシップを発揮しつつ、安全担当や製造担当と接触し、かつ、常に現場の声を反映できるような体制の強化
二、設備の老朽化等の厳しい現状がある一方、技術革新を生かした新たな取組も進んでいることを踏まえた、安全への投資の促進☑
三、ベテラン職員の減少、業務アウトソーシングの増加などの環境変化を踏まえた、階層別、協力会社を含めた安全人材の育成や安全教育の拡充☑
四、重点的に取り組むべき課題を抽出し、その原因・対策などを検討し、検討結果を業界内外に共有

## 1.WEBの活用

(1)第60回全国紙パルプ安全衛生大会（於：釧路）⇒開催断念

- ・安全講演をハイブリット形式（WEB+製紙連合会会議室）で配信

(2)各種会合、講演会等のWEB化

- ・全国各地からの参加・受講が可能となり、従来に比し参加者数が増加

## 2.感染者発生時の情報提供体制

安全衛生委員会構成会社の感染発生情報⇒製紙連合会事務局に（現在49件）

## 3.経団連ガイドラインへの関与

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（オフィス・製造事業所）の策定に際し、安全衛生委員会各社からの要望・意見を反映

## 4.全国大会、異業種工場見学等

人の集合や移動が伴う活動⇒開催断念・次年度への延期